
付録 D

PC と直接接続方法

【 Version 9.0 : 02 版 】

optimize!
softing

目次

PC との直接接続について	D-2
接続手順	D-2
接続後の機能	D-4
接続確認	D-4
テスト結果データの取り込み	D-5
リモートコントロール	D-6

PCとの直接接続について

ワイヤーエキスパート(WX4500/500)とパソコンを USB-Mini USB ケーブルを使用して接続することができます。接続するとパソコン側から以下の操作ができます。

- eXport へのテスト結果データの取り込み
- リモートコントロール

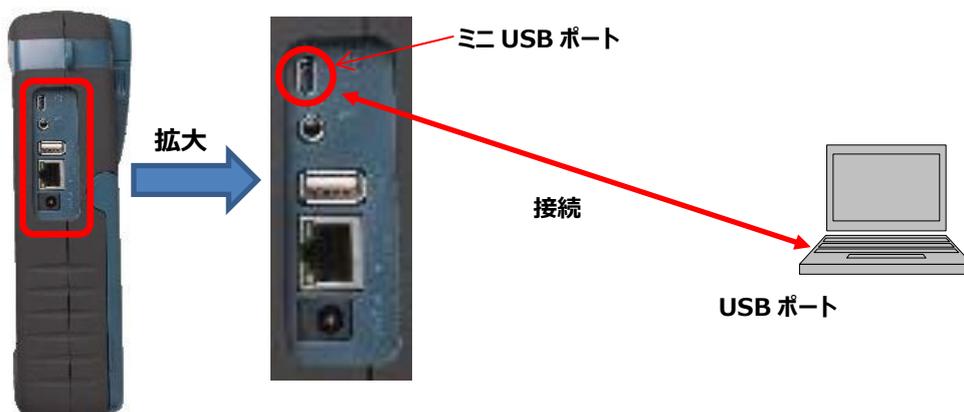
接続手順

以下の手順に従って、パソコンとワイヤーエキスパートを接続します。

1. パソコンに Microsoft/Windows の以下のソフトウェアがインストールされていることを確認します。
 - Windows Vista 以降 : Windows Mobile デバイスセンター
 - Windows XP : Microsoft Active Sync

※ eXport をパソコンにインストールした場合は、インストール Step1 で自動的にインストールされます。インストールされていない場合は、CD-ROM 内の eXport をインストールしてください。
2. ワイヤーエキスパートの電源を ON にして起動させます。
3. ワイヤーエキスパート起動後、USB-Mini USB ケーブルでパソコンとワイヤーエキスパートを接続します。

< 側面 >



4. パソコン側では、『Anchor USB EZ-Link Cable』ドライバーが自動的にインストールされます。インストール後、『Windows Mobile デバイスセンター』もしくは『Microsoft Active Sync』が自動的に起動します。ワイヤーエキスパート側は、特に何も操作が必要ありません。

- ※ Windows Mobile デバイスセンター画面で操作することは、特にありません。起動後は、画面を最小化しておけば問題ありません。
- ※ Windows Mobile デバイスセンター画面が自動的に立ち上がらない場合がありますが、Windows Mobile デバイスセンターが正常にインストールされている場合は、バックグラウンドで正常に起動しているため、問題ありません。

< ドライバーインストール (完了時) >



< Windows Mobile デバイスセンター >



接続後の機能

ワイヤーエキスパートとパソコンの接続が完了後、パソコンにインストールしたワイヤーエキスパート専用ソフトウェア eXport を使用して以下の機能が可能となります。

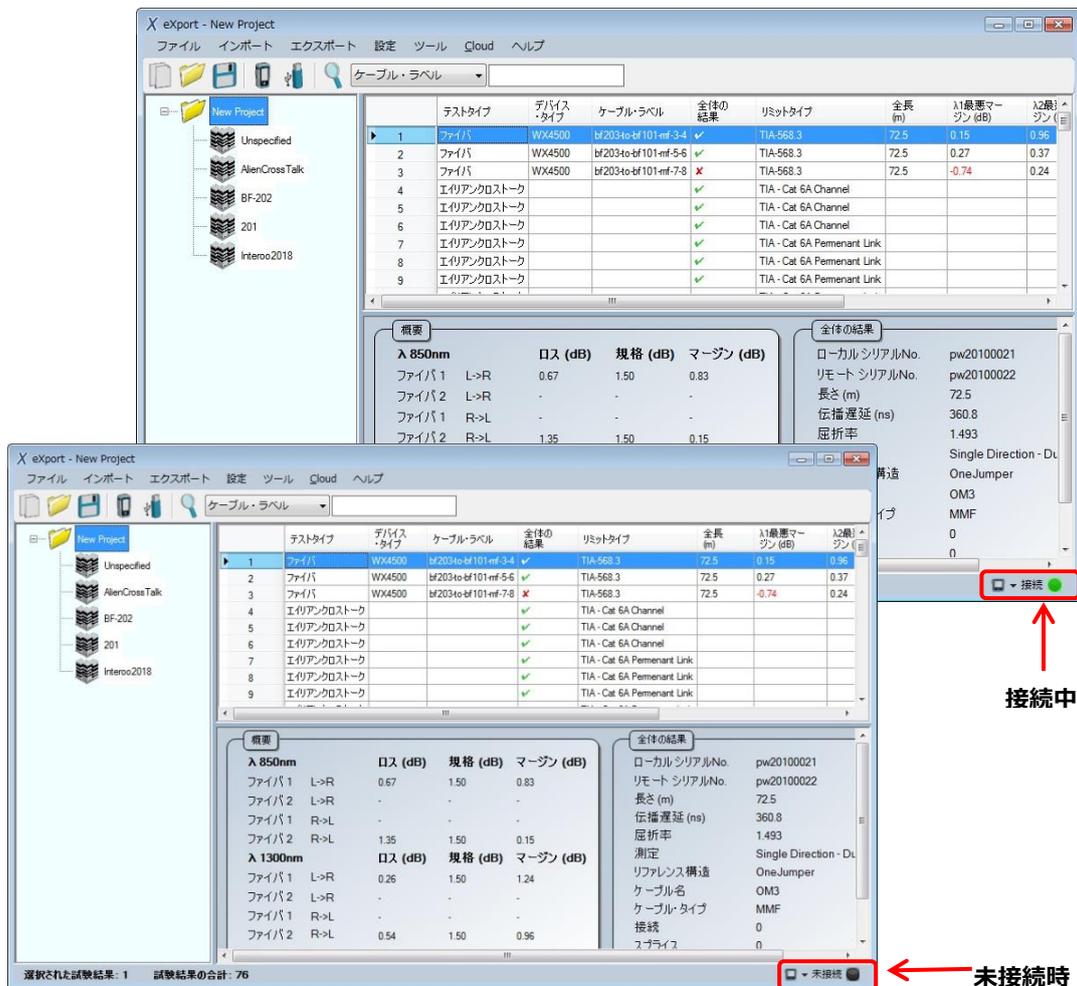
- テスト結果データの取り込み
- リモートコントロール

接続確認

パソコン経由で eXport とワイヤーエキスパートが正常に接続されているか確認します。

1. eXport を起動します。
2. 起動後、eXport のメイン画面右下を確認します。正常に接続されている場合は、『接続』と表示されています。

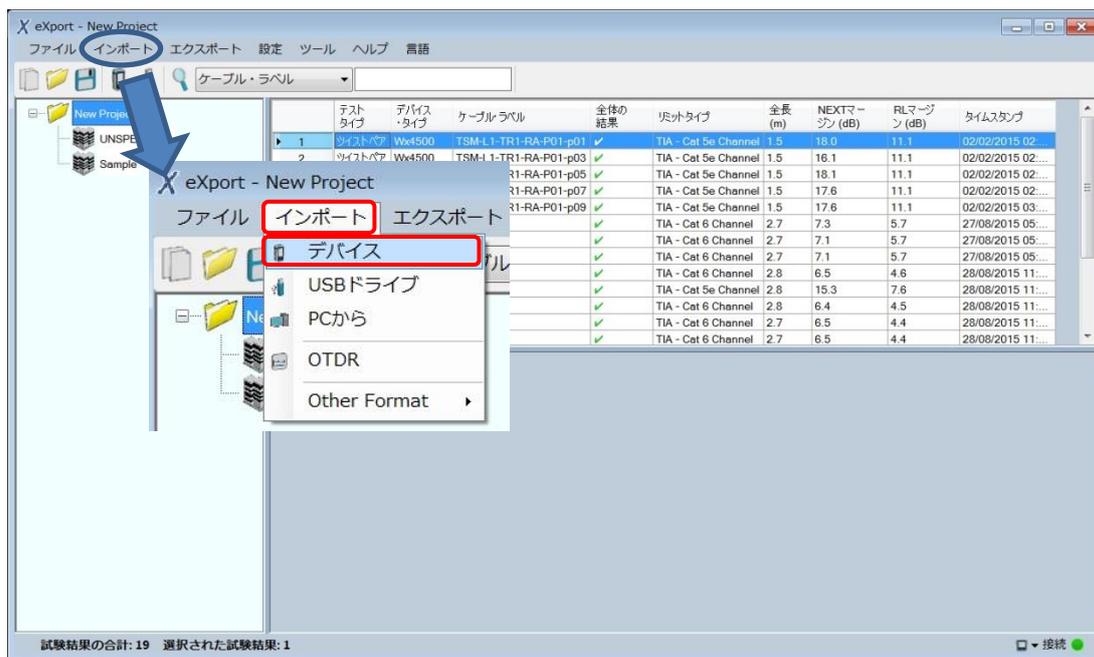
※ 未接続時は、ケーブルの再接続または、Windows Mobile デバイスセンターや Microsoft Active Sync の接続確認を行ってください。



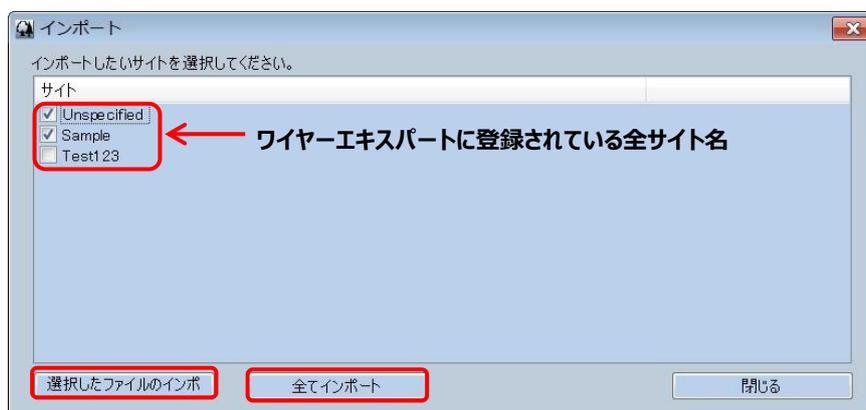
テスト結果データの取り込み

パソコンとワイヤーエキスパート接続するとワイヤーエキスパート内部に保存されているテスト結果を eXport に取り込むことが可能です。

1. ワイヤーエキスパートで『インポート』→『デバイス』を選択します。



2. テスト結果データが保存されているサイトを選択して、『選択したファイルのインポート』を選択します。全てのサイトのテスト結果データを取り込む場合は、『全てインポート』を選択します。自動的にテスト結果データがインポートされます。



リモートコントロール

パソコンとワイヤーエキスパート接続するとパソコンからワイヤーエキスパートを操作することができます。た、ワイヤーエキスパートの画面をキャプチャすることも可能です。

1. eXport メイン画面右下の矢印をクリックして、『Connect to Device』を選択します。本体とパソコンが接続され、その後、『リモート表示』を選択します。パソコンの画面上にワイヤーエキスパートの Remote Display が表示されます。

